

学習内容報告書 フォーマット

| | |
|-----|-------------------------|
| 学校名 | 広島県立音戸高等学校 |
| 授業者 | 藤本裕之, 末田ひろみ, 長岡豊樹, 栗木陽子 |

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

「牡蠣・ちりめん」を活用した特産品の開発と普及

1-2. 学年

1 学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な探究の時間

1-4. 単元の概要

音戸町，倉橋町の生産者から，「牡蠣・ちりめん」の特徴と普及に係る課題について学ぶ。

- ・ 地元を活性化する特産品の特徴について，先進的な事例を学ぶ。
- ・ 多くの人に訴えるマーケティング戦略について理解する。
- ・ 音戸町，倉橋町の特産品である「牡蠣・ちりめん」を活用した商品を多くの人に知ってもらうために実践活動を行う。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

「牡蠣・ちりめん（イワシ類）」を活用した特産品の普及に取り組むことで，地元の海の環境を守ることの大切さを学ぶ。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

豊かな自然に恵まれた故郷の海を大切にす郷土愛を持ち，地域の活性化に積極的に取り組むことのできる生徒の育成を目的とする。

1-7. 単元の展開（全10時間）

| 時 数 | 学習活動・主な内容 | 教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等 |
|--------|--|---|
| 1 2 | <p>・オリエンテーション</p> <p>総合的な探究の時間の学習を始めるにあたって、次の課題について考える。</p> <p>音戸町，倉橋町の海の自然環境について。</p> <p>「牡蠣・ちりめん」を活用した特産品の開発と普及について。</p> | <p><教師の指導></p> <p>昨年度，上級生が学習した実践報告を聞き，地元の活性化を促進していくために，どのような課題があるかを考えていく。</p> <p><主な評価></p> <p>地元の活性化についての課題を考えることができたか。</p> <p><使用教材></p> <p>令和3年度「総合的な探究の時間」学習成果発表会の資料。</p> <p><外部連携></p> <p>くれ産業振興センター</p> |
| 3 | <p>・地元特産品の牡蠣をPRするためにデザインポストの製作を目指す。</p> <p>音戸郵便局長 岩本康成氏による講演</p> <p>テーマ「郵便局の歴史や仕事について ～デザインポストの製作のために～」</p> | <p><教師の指導></p> <p>デザインポスト製作のために，郵便局の歴史や仕事を学ぶ。</p> <p><主な評価></p> <p>デザインポスト製作のために留意しなければいけない点を理解することができたか。</p> <p><外部連携></p> <p>音戸郵便局</p> |
| 4 5 | <p>・デザインの製作及び発表</p> <p>牡蠣をテーマにしたデザインポストのデザインをグループ毎に考案し発表会を行う。</p> | <p><教師の指導></p> <p>グループで協働して牡蠣の特徴を多くの人に知ってもらうための効果的なデザインを考案していく。</p> <p><主な評価></p> <p>グループ内で協働してデザインを考案し，その特徴をわかりやすく説明することができたか。</p> <p><使用教材></p> <p>情報端末</p> <p><外部連携></p> <p>音戸郵便局，くれ産業振興センター，音戸町魅力化推進協議会</p> |
| 6 7 | <p>・地域を活性化させるために，地元の特産品をどのように活用するか考える。</p> <p>有限会社数田呉服店「天仁庵」 専務 数田祐一氏による講演</p> <p>テーマ「地域を活性化させる特産品の育成について」</p> | <p><教師の指導></p> <p>特産品を活用してどのように地域を活性化させるのか課題と実践について考えさせる。</p> <p><主な評価></p> <p>地域の活性化に向けた特産品の活用等について課題と実践を生徒間で共有することができたか。</p> |

| | | |
|---------|---|---|
| | <p>くれ産業振興センター アドバイザー 田中耕三氏による講演 テーマ「特産品を活用した地域振興の課題について」</p> | <p><外部連携> 有限会社数田呉服店「天仁庵」、くれ産業振興センター</p> |
| 8 | <p>・海洋教育の中で学習した海に関する事柄について、地域の人たちに現状と課題を幅広く理解してもらうために、地元のイベントにおいて地元の特産品を活用した商品の販売を行う。 ・「音戸町ラッピングポスト」除幕式 生徒が考案した「牡蠣のPR」をテーマにしたラッピングポストを多くの人に認知してもらう。</p> | <p><教師の指導> 地元の特産品を活用したオリジナル商品の販売を通して、地域の活性化についての課題と展望を理解させる。 <主な評価> 学習した内容を整理し、地域住民に正しく分かりやすく伝えることができたか。 <外部連携> 音戸町まちづくり協議会、音戸町魅力化推進協議会</p> |
| 9 10 | <p>・学習成果の発表とまとめ 学習した成果を発表し、地元産業会の代表、地域住民による講評及び評価を行う 「総合的な探究の時間」のまとめ くれ産業振興センターの田中耕三氏</p> | <p><教師の指導> 海洋教育で学んだことについて、現状と課題について整理を行い、課題解決に向けて具体的な考察を行わせる。 <主な評価> 1年間学習したことを整理し、課題解決について考察することができたか。 <使用教材> 情報端末 <外部連携> くれ産業振興センター 音戸町魅力化推進協議会</p> |

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

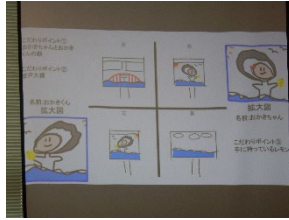
地元の特産品である牡蠣をテーマに、デザインポストの製作及び商品開発を通じて、地域の活性化について学ぶ。

2-3. 本時の展開

| 主な学習活動 / 反応 | 教師の指導・支援 / 評価の視点（方法） |
|---|---|
| <p>1 地元特産品の牡蠣をPRするためにデザインポストの製作を目指す。</p> <p>・「郵便局の歴史や仕事について ～デザインポストの製作のために～」というテーマで、音戸郵便局長岩本康成氏に講演をしてもらう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> | <p><教師の指導・支援></p> <p>1の地元特産品の牡蠣をPRするために、音戸郵便局長の岩本康成氏に、デザインポスト製作に関わって郵便業務について講演を実施していただき事前学習を行った。</p> <p>2のデザインポストデザイン発表会では、特産品の牡蠣の特徴がよりわかること、加えて牡蠣を育成するために海の環境維持の大切さが伝わるような視点からアドバイスを頂いた。</p> |
| <p>2 デザインポストのデザイン制作及び発表会</p> <p>・牡蠣をテーマにしたデザインポストのデザインをグループ毎に考案し発表会を行う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> | <p><評価の視点></p> <p>「牡蠣・ちりめん業界」の特徴と海の環境保全について整理し、課題解決について考察することができたか。</p> |
| <p>3 地元のイベントにおいて地元の販売及び「音戸町ラッピングポスト」除幕式</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> | |

3. 今回の活動の自己評価

- ・生徒は音戸の特産品の牡蠣をテーマにしたデザインポストの製作の前に、事前学習として音戸郵便局長の岩本康成氏よりデザインポストに係る郵便局の業務等について講義を受け学習しており、デザインポスト製作の意義等を深く理解しながら取り組むことができた。



- ・デザインポストの発表会では牡蠣のPRのみを行うのではなく、自然豊かな海の大切さも訴えることを念頭に海の環境保全を考えた発表を行うことができた。

4. 今後の課題

音戸町、倉橋町の生産者から、「牡蠣・ちりめん」の特徴と普及に係る課題について学ぶという視点から、地元を活性化する特産品の特徴について学び、それを多くの人に知ってもらうためにデザインポストの製作に取り組んだ。デザインを考える時に「牡蠣」という特産品のPRに終わるのではなく、牡蠣を育てる自然豊かな海の環境保全を意識しながら学習を進めていった。

特産品の活用については地元の飲食店である天仁庵の専務 数田祐一氏による講演会で「地域を活性化させる特産品の育成について」講話していただいたが、具体的な商品開発等へ向けての取組を繋げることができなかった。次年度へ引き継いだ課題となった。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・「牡蠣・ちりめん」のPRに終わるのではなく、海の環境保全という海洋教育の視点を念頭に組み込む必要がある。
- ・デザインポストの製作から特産品のPR・商品開発までを念頭に学習をすすめていったが、1年間ではなく3年間という長期にわたる取組を計画する必要がある。

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。